

キッズ・ルピナス 茅ヶ崎事業所 自己評価アンケート分析報告書

1. はじめに

本報告書は、「キッズ・ルピナス 茅ヶ崎」において実施された保護者向け自己評価アンケートの結果を分析し、今後の運営改善や支援の質向上に役立てることを目的としています。対象は、児童発達支援（未就学児）および放課後等デイサービス（小学生）です。

2. 全体の傾向

児童発達支援は1名の回答のみで、すべての項目に「はい」の回答が見られ、非常に高評価でした。放課後等デイサービスは2名の回答があり、「どちらともいえない」や「いいえ」の評価が複数見られたため、一部の説明不足や支援の伝わり方に課題があると考えられます。

3. 児童発達支援（3～5 歳）

3.1 評価の高かった点

- 全 29 項目すべてで「はい」と回答されており、満足度は非常に高い。

3.2 今後の留意点

回答者数が1名であるため、来年度は回答率の向上を目指すとともに、支援内容の可視化を通じたさらなる信頼構築が望まれます。

4. 放課後等デイサービス（小 1～小 6）

4.1 評価の高かった点

- 環境整備、支援体制、職員の共感的姿勢、情報発信、安全対応などは概ね高評価。

4.2 改善が見られる点と対策案

項目	評価の傾向	改善案
活動スペースや職員配置	どちらともいえないが 1 件ずつ	スペース使用例や職員の関わり方を HUG 等で具体的に紹介
支援内容の一致	1 件が「どちらともいえない」	支援の狙いや効果を可視化する取り組みが必要
地域交流の有無	1 件が「どちらともいえない」	実施している交流活動の様子を共有・記録する
安全説明・事故対応	いくつかの項目で 1 件ずつ「どちらともいえない」	年 1 回の安全対応説明資料の作成・共有
通所の楽しさや満足感	1 件ずつ「どちらともいえない」	子どもの支援中の写真などを発信し、楽しさを可視化

5. 来年度への共通提案

- アンケート回答数の増加を図るため、回答しやすい環境整備と保護者への働きかけを強化
- 支援内容・安全配慮の「見える化」で保護者の信頼をさらに深める
- 子どもたちが楽しんでいる様子を発信し、通所の魅力を共有
- 相談体制や地域交流の意義を伝え、関係性の強化につなげる